

認知症サポーター養成講座



先月号で詳しくお伝えしましたように、敬和ヘルスケアグループでは独自の取り組み「認知症プロフェッショナル」という認知症ケアの専門チームを立ち上げ施設全体で認知症に対するアプローチを学んでいる所ですが、その取り組みと平行して、全国キャラバン・メイト連絡協議会が主催する「認知症サポーター」の養成にも力を入れており、今回島津乃荘に在籍する講師役「キャラバン・メイト」が中心となり認知症サポーター養成講座を開催しました。

「認知症サポーター」は、介護職員などが行う専門的なサービスだけではなく、地域全体で認知症というものを正しく理解し、認知症の方やそのご家族様を温かく見守る応援者になるという役割を担っています。この認知症サポーター養成講座では、地域で認知症の方をお見かけした際の接し方の例を映像で確認し、それぞれ何が良かったのか、何が相応しくなかったのか考えました。施設で働く介護職員的心情を日記風につづった資料には「誰かのために生きたその時から、自分の人生が輝きます」というコメントがあり、私たちが携わる「介護」とは本当に素敵なものなのだと、初心に帰る思いでした。

今回の講座は当施設の職員が中心の参加となりましたが、次回からは地域の方々にも参加していただけるような形での開催準備を進めている所です。今後の情報は広報紙やホームページを通じてご案内させていただきますので、ぜひご覧ください。



摂食嚥下勉強会

「摂食嚥下勉強会」は、昨年「宮崎摂食嚥下障害臨床研究会 定例会」に参加した職員による伝達研修が行われ、それを受ける形で本年よりスタートしました。

第4回目の学習会では、介護・看護の現場で行われているケアの中には、受け継がれてきた経験とは異なる「専門的な常識」を知らないことが原因で、不適切な食事提供が行われる場合があるということも分かってきました。これらの専門的なケアについて当施設で対応していくのは当然ながら、地域で連携する病院や施設、在宅介護・在宅看護の皆様へも、摂食嚥下に関する情報をご提供していければと考えているところです。



- 第1回：摂食嚥下に関わる各種器官の名称や働き
- 第2回：喉頭挙上障害とそれを引き起こす姿勢
- 第3回：第2回で学んだ内容を実際に体験
- 第4回：嚥下調整食の物性と動態、介助時の注意点

特別養護老人ホーム 島津乃荘

〒885-0006 宮崎県都城市吉尾町 2200 番地 1
TEL: 0986-46-2155 FAX: 0986-38-3677

広報紙へのお問い合わせ TEL: 0986-51-3111
記事へのお問い合わせ TEL: 0986-46-2155



特別養護老人ホーム
短期入所生活介護
訪問介護

<http://keiwakaigroup.com/sf/institution/>
e-mail: info_shimadzunoshō@keiwakaigroup.com

ホームページのブログでは、もっと詳しくご紹介しています。ぜひご覧ください。

関連事業所

- 戸嶋病院
医療療養病床
リハビリテーション
- 訪問看護
- ケアプラン ほとと郡元
居宅介護支援事業所

